

## 令和6年度 市政アンケートモニター「くるモニ」調査項目（案）

## 【設問のテーマ】

- 問1 文化芸術についての情報収集について ⇒H30 市民意識調査で実施  
 問2 文化芸術によるまちづくりのために特色を出すべき分野 ⇒H30 市民意識調査で実施  
 問3 【新】ウィズコロナ時代の鑑賞と活動のあり方 ⇒R4、R5 くるモニの「間接的鑑賞」の発展  
 問4 【新】子どもの鑑賞・活動体験を増やすために必要なこと ⇒次期計画策定の参考とすべき視点

問1 文化芸術の鑑賞や活動に参加するための情報をどのような方法で入手していますか。次の中から主なものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

1. 広報久留米(久留米市広報紙)
2. みどりのリズム((公益)久留米文化振興会広報紙)
3. 新聞
4. 無料情報誌(フリーペーパー)
5. 有料の雑誌・専門誌
6. インターネット、SNS【LINE(ライン)、Facebook(フェイスブック)、Instagram(インスタグラム)、X(エックス、旧ツイッター)、YouTube(ユーチューブ)など】
7. テレビ
8. ラジオ
9. 口コミ紹介(職場、友人・知人などを通して)
10. イベント会場などで配布しているチラシ・案内
11. その他(具体的に: )

問2 久留米市が、文化芸術によるまちづくりを進める上で、どのような分野に特色を出していくと良いと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

1. 美術(絵画、書、彫刻、写真、工芸など)
2. 音楽(クラシック、ポップス、歌謡曲、民謡、邦楽など)
3. 演劇・演芸(現代演劇、人形劇、ミュージカル、落語など)
4. 舞踊(ダンス、バレエ、日本舞踊など)
5. 伝統芸能(歌舞伎、能、狂言など)
6. 生活文化(茶道、華道、手芸など)
7. 文芸(小説、詩、短歌、俳句、短歌など)
8. 映像文化(映画、映像美術など)
9. 歴史・郷土文化(史跡めぐり、歴史講演会など)
10. その他
11. 特にない

問3 文化芸術について、インターネットを利用した様々な鑑賞形態が普及していますが、リアルな鑑賞と比べて、どう思いますか。当てはまるものをいくつか、○をつけてください。

1. インターネットでは、様々な文化芸術のジャンルの画像や動画があふれており、見るだけで楽しく満足感がある
2. 実際に美術館や劇場に足を運ばなくても、インターネットでは、いつでも好きな作品の画像を見たり、音楽データを聴いたりできるのがよい
3. インターネットのでは、本物の大きさや手触り、質感などが伝わらないため、できるだけ本物の文化芸術に触れたいと思う
4. インターネットの情報が本当に、正しい情報かどうか分からないので、実物で確認したい
5. 本物の絵を間近に見たり、楽器の生の音を聞いたりするリアルな体験は、インターネットで得られる情報には替えられない
6. インターネットの便利さを利用しながら、リアルな体験での感動も重視していきたい
7. デジタル化が進む現在、本物の文化芸術に触れることは、より大事になっていると思う
10. その他( )

問4 子どもの文化芸術の鑑賞や、活動体験を増やすために、どのような取組みが必要だと思いますか。(あてはまる番号に3つまで○印)

1. 学校における公演や展示などの鑑賞体験を増やす
2. 学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験を増やす
3. 学校における華道、茶道、書道、手芸などの生活文化の体験機会を増やす
4. 歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会を増やす
5. 学校と地域の文化施設や機関との連携を強化し、校内外で一体化した文化芸術教育を行う
6. 美術館やホール・劇場など地域の文化施設における、子ども向けの鑑賞機会や学習機会を増やす
7. 地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化芸術体験の機会をより多くつくる
8. 子どもが家族と一緒に参加しやすい文化芸術のイベントの機会を増やす
9. その他( )